

# 令和3年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	技術開発支援事業(共同研究)	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画事業部
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	大学連携等による調査研究事業		事業区分	助成(応募型)	

## 1. 事業目的

公募型助成事業の一環として、北陸地域の社会資本整備に係る地域づくり、産業振興、建設技術等に関する課題の解決に向けた技術開発、調査研究を行う研究グループを支援し、地域のさらなる活性化と振興を図る。

## 2. 事業実施体制

- 【共同研究1】継続  
メンテナンス技術者育成のためのコンテンツの開発と導入および遠隔講習の試行  
代表者:佐伯 竜彦(新潟大学 工学部 教授)
- 【共同研究2】新規  
黒部川高水敷樹林の資源化による持続可能な脱炭素化とレジリエンス向上  
代表者:上坂 博亨(富山国際大学現代社会学部 教授)
- 【共同研究3】令和2年度(第25回)研究助成事業未実施分  
観測に基づく局所的な土砂災害危険度情報とその防災教育への活用  
代表者:宮田 秀介(京都大学 防災研究所 准教授/穂高砂防観測所)

## 3. 事業実施概要

- 【共同研究1】  
近年、社会資本施設の維持管理を担当する技術者不足が大きな問題となっているため、地域の教育機関(ME新潟)と協力して技術者教育のメニューや遠隔講習の開発を実施した。
- 【共同研究2】  
黒部川流下域において、治水の阻害となるため伐採される河川敷樹林に着目し、脱炭素社会の実現に向けた伐採樹林を活用したバイオマス発電のための調査研究を実施した。
- 【共同研究3】  
土砂災害の危険性が高い地域に立地する岐阜県高山市栢尾小学校生徒を対象に、リアルタイムに地域の雨量、湧水量などの情報を知らせる仕組みを構築し、生徒が情報から危険性を読み取る力を得るとともに、情報から避難の必要性を判断し、避難する力を養う、防災教育授業を1回実施した。

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

社会資本施設維持管理の技術者育成のための講習会のメニュー開発は、北陸地方の社会資本長寿命化と安心・安全に貢献する取り組みである。河川敷の伐採樹林の再生可能エネルギー活用は、SDGsのカーボンニュートラルの取り組みとして、また、全国の河川敷伐採樹林活用のモデルケースとなりうるものであると期待できる。土砂災害の危険性が高い地域の小学校生徒を対象とした防災教育の実践は、地域住民が危険を察知し、避難する行動力を養う取り組みである。3つの研究とも成果が地域の活性化に寄与し、モデルケースとなりうるものと期待できる。

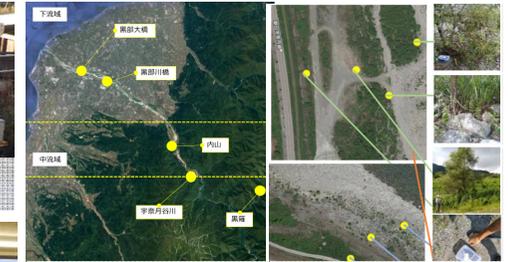
### 【共同研究1】



第1回検討会オンライン (R3.7.3)

非破壊検査用模擬供試体作製

### 【共同研究2】



河川敷樹林成長要因 水質調査箇所

河川敷樹林土壌 二酸化炭素排出測定



メンテナンス講習会 (R3.9.16)

オンライン講習会 (R3.10.21)

### 【共同研究3】



栢尾小学校防災授業 (R3.10.18)

ぼうさい空日記(雪編)



鹿児島木質チップバイオマス発電所 ヒアリング・視察 (R3.12.4~6)



栢尾小学校に設置している雨量表示システム